

# な か ま

発行  
佐倉市立中央公民館  
編集  
な か ま 編 集 委 員 会  
〒285-0025  
佐倉市 錦木町 198-3  
電話 (043)485-1801

私のライフワーク----- 村田 高晴 朋あり! 遠方でゲットせよ--- 若宮 和夫  
随想「つぶやき」----- 藤田 恭 指運で暮を打つ----- 安田 洋晴

## インディアナ

長谷川 嘉代

毎年秋になると思い出す。

日本経済が世界の羨望の的だった1980年代。夫の勤務に伴い、ロスアンゼルスで3年半生活し、そろそろ帰国かな、と思っていた1988年、インディアナ州の小さな町への転勤通知。

ロスアンゼルスは気候が良く、美味しいレストランや素敵な店舗も沢山あり、友達も大勢いる。そして、あと半年程で現地の高校を卒業予定の長男の為に、私はインディアナへは行きたくなかった。

しかし、結局は家族で10月末にロスアンゼルスを離れた。

約4時間のフライト後、シカゴで小さなプロペラ機に乗り換える時、小雪がちらつき始めた。半袖のTシャツ姿の息子達は、空港の職員から「そんな服装をしてはい

けない」と注意され、現地へついて早々の仕事はロスアンゼルスでは不要だった防寒着を買いに走ることにした。

我が家となる家へ引越した最中、教会へのお誘いに来た近所の地元の婦人から「貴方の夫は、ローカルの会社を乗っ取った」と言われた。彼女は単に引き継いだという意味で言ったのかも知れないが、私にはそう聞こえ、大変な所へ来てしまったと思っただ。彼女とは、お互いの息子が通う高校のマーチングバンドが州のコンテストで、チャンピオンになった時には抱き合って喜ぶことになるのだが。

日本食は何でも有り、野菜、果物、肉類等上質の物が手に入っていたロスアンゼルスに比べ、欲しい食材は皆無に等しく、豆腐や薄切りの肉

は車で50分程かけて小さな韓国食品店迄行かねば手に入らない。良くも悪しくも、インディアナには10年昔のアメリカがあると感じて来たが、私はカルチャーショックを受けた。

しかし、夏の夜の蛍の乱舞、10月初旬の輝くようなメーブルの紅葉、降り積もった雪に映えるピンクの夕焼け、我が家の庭に棲んでいるリスやキツツキ、家の裏を流れる川を渡って迷い込んで来るエルク(鹿の一種)。自動車に混じって走る、アーミッシュ(キリスト教新教の一派で、新しい文明を拒否し、電気等も使用せず、集団的に住んでいる)の人達の一頭立ての黒い馬車。竜巻警報が出て、暗闇の中、次男と2人でパスポートを持って地下室へ避難した事等々。渋谷行つたインディアナでの生活を今は堪らなくなつたかしく思い出す。

(編集委員)

## 私のライフワーク

数年前から漠然と歴史を勉強したいと考えていた。昨年退職を契機に実行に移した。

それも教科書やテレビではあまり触れることがない歴史を、まず「国立歴史民俗博物館友の会」会員になり、江戸時代の寺子屋や街道・宿場等の主として庶民が親しんだものに興味を持って学習している。

現在と比較して、非効率で不便な中でも人々が如何に生き、喜び、悲しみ、また考えたかに思いを馳せるのが好きである。また、そうすることで固定観念的に思ってきた時代に対して、違ったイメージや親近感を持つことができると感じている。

歴史の時間と空間の広がりは無限であるため、自分なりの目的と切り口により絞り込むことが大切だと思う。自分の場合は、現在、庶民の考えや生計と言った日常性に視点を

を当てている。今後もこの視点を基調にして他の時代にも広げ、最終的には「自分」「日本人」と言うことについて、自分なりの発見や認識ができればと考えている。

これをやるに当たって留意していることがある。それは、現代人と当時の人々の価値観や人生観の違いを知ること、その時代が見えてくると考えている。そこで自分自身の価値観、人生観も広めることが必要で、大いに行動・経験し、多くの人の思い・行いに接するよう心掛けていく。

退職後は暇を持て余すのではないかと危惧したが、今はむしろオーバーフロー気味である。今後も体力、時間、資金の許す限り、好きな歴史を通じてライフワークと言えるテーマに取り組んでいこうと考えている。

(白銀 村田高晴)

## 朋あり！遠方で

### ゲットせよ

いい友は、国内だけではなく。孔子も云っているではないか。「朋あり遠方より」と。早い話、友達は遠方へ出向いてゲットするのである。

私の場合、だいたい一年に一度、海外へ出る。去年はロンドン在住の老婦人二人と知り合い、帰国後も途絶えることなく、未だに文通が続いている。あの3月11日の大震災についても、一週間後の18日にはもう、メールで安否の問合せがあった。

今年は何の地域へ出かけたが、今度はアメリカやカナダ、アイルランドの爺さん婆さんが色々声を掛けてくれたし、ある婆さんなどは、宿をチェックアウトする慌しい時間を割いて、お別れの挨拶のつもりか、私の手に熱い？キッスまでしてくれた。こういう挨拶は生まれて初めてだったが、

いい思い出になった。

また香港出身のある婦人は現在中国人の良人とカナダに住んでいるそうだが、やはり地震の事を心配してくれた。

ある男性は、日本語は上手に話すし、顔も日本人に見えたが、ハワイ生まれのれっきとしたアメリカ人だった。

一番ビックリしたのは、これもどう見ても西洋人に見えるが、実に流暢な日本語を操る人と出会ったことだ。

聞けばあちらより、日本での生活の方が長いという。私などと年齢が十しか変わらないので、体験も似ていて、すぐつうかあの仲になれた。

たしかに遠方から「来る」友もあるが、遠方で会い、親しくなる友もある。これからはむしろ、友は、遠方で、ゲットする時代なのかも知れない。

(千成 若宮和夫)

## 随想「つばやき」

(一節) 讚美花

人は花を愛し

花にひかれて花に集い

花に癒され、花に酔う

喜びも悲しみも花と在り

花の美しさに魅せられて

人の心にも華が咲く

人世、花ありて麗しき

(二節) けがれ無きルーツ

山あいを流れる清水

幼子の澄んだ瞳

自然も、人間も

元々は、みんな純真無垢

(三節) それぞれの味

我らは人の子

到底、満点にはなれない人間

いろんな弱点が有って

それと少しの美点が相まって

人は味が出るんだよね

(四節) 幸せの物差し

人それぞれの

物差しで計る幸せ度

平凡な暮らしを

幸せとして計れる

物差しに感謝

(五節) 人間の愚かさ

太陽光のように波長の異なる

多色の光が混じり合うと

綺麗な白色になると云う

文化や思想、宗教等の異なる

人間が混じり合うと

時に悲惨な色に染まる

誰もが望んでいる

戦争の無い明るい色の空

(六節) 深まるもの

温かい春風や雨は

草木の根を深くする

温かい心は

人の絆を深くする

(七節) 処方薬

人は岐路に立つことが有る

決断のつかぬ時もある

迷った時

悩んだ時

時間と云う名のクスリを飲む

(八節) 写し絵

自分の姿が鏡に写るように

己の表情や態度は相手に映る

笑えば笑い、怒れば怒る

人間どうし

( 鍋木町 藤田 恭 )

## 指運で碁を打つ

ゆびうん

現役サラリーマン時代将棋

に凝っていた。昼休みも退社

後も将棋を指して帰宅。これ

が高じて 段の資格証書と共に、

万円の請求書。「何よ

これ」と叱られたが額にも入

れてくれて、今も頭の上に

(頭が上がりぬ)。

数年前、将棋では親交は無

理。自分の優秀な家来が瞬時

に敵。これからは碁。ハンデ

イキャップが合理的(ひとつ

ずつ石が増えていく)。どん

なに相手が強くても勝てる時

が来る。

暇ができれば碁会所へ。車

の運転中も、床に入っても、

白黒石が飛び交う。寝ても醒

めても。これはいけない。自

分の最も大切にしている白河

夜船が気持ちよく揺れない。

心構えを根本的に変えよう。

一手一手を余り考えない(解

らなければ能力を超えた局面

)。良く読んでも、結果は55

対45(この差が強くなるポ

イントであるが、弊害も)。

余り考えなければ、勝負に関

わらず印象薄く頭に残らない。

また相手を選ぶ(長考タイプ

は避ける)。苦手も避ける

(負け続けると気分が悪い)。

三回に一回は勝ち負けするタ

イプが好都合。友情が保てる。

打ち方は指運に任せる(指の

赴くままに勝負を預け楽し

む)。

一局30分、ポカあり直ぐ

投了も数多い。今日も余暇を

楽しく碁を打って過ごせた。

頭に残っているものは殆どな

く、心地よい頭の疲れのみで

ある。勿論白黒石も飛び交わ

ず、好きな歴史書でも読めば

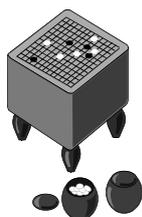
直ぐ白河夜船もユラリユラリ。

誠に健康的な一日である。

「碁敵は憎さもにくしな

つかしき」

( 新白井田 安田洋晴 )



## 11月の黒板

# 『なかま』の原稿を募集しています！

『なかま』の2ページと3ページは佐倉市民の皆さんから投稿いた

だいた記事を掲載しております。

『なかま』の原稿は、自由テーマを原則としています。「出会いと別れ」、「旅の思い出」、「祭り」、「私のふるさと」、「私の健康法」など何でも構いません。また、日常での出来事で発見したこと、気付いたこと、経験や感想などもご随意にお書きください。

原稿の字数は、650字（13字×50行）以内です。また、掲載するにあたり常用漢字への変更や、句読点等の修正をさせていただくことがあります。

問い合わせ先

佐倉市立中央公民館 TEL 043 - 485 - 1801

〒285 - 0025 佐倉市錦木町198 - 3

### さくら道

「アレ、鍵かけたっけ？」  
とか、「火消したっけ？」とか、  
どなたもこんな思いをされた  
ことはありませんか。

外出先でフツとこんな事を  
思ったら、心配で心配で居た  
たまらないですよ。

電車の運転士さんや車掌さ  
ん、駅員さんが励行していま  
すよ。指を差し「よし！」と  
自分に言い聞かせ納得しこれ

でOK。「出発、進行！」。

また、最近市内では空き巣  
や火災が多発しているようで  
すよ。出掛ける時や寝る前は  
声を出し「火良し！」「鍵良  
し！」と指差確認を励行しま  
しょう。

泥棒用心、火の用心の他に  
ガスの元栓、電気、テレビ、  
水道など確認ポイントを決め  
て今日から早速実行。

いいですか。「泥棒用心、火  
の用心」ですよ！。

（田中修司）

### あとがき

カレッジ2年生になりクラ  
スで役員選出が行われた。「1  
年生の時、無役の人がしたら  
よいのでは」と、言う意見が

出たこともあり、不安を残し  
ながらも『なかま』の編集委  
員を引き受けた。

6月20日初めて編集会議  
に出席する。活発な意見が交  
わされた。その雰囲気は圧倒  
されコチコチ状態で2時間余  
りが過ぎる。11月号には「あ

とがき」も書かなければなら  
ないことになってしまった。  
能力も意欲もプラス思考もな  
い今の私。どうしよう。書け  
ない。

「読んで貰うことを前提に  
するなら読みやすい文字で書  
くべきだ」と、某書道家の言  
葉が頭に浮かぶ。物書きにも  
相通ずるものがあるように思  
う。拙い文章だが、私も読み  
やすさを大切に心掛けたいと  
思う。

（柴山つきみ）